

M i N T - A C C N o t e H V
ユーザーズガイド

初版 08 - 10 - 07

株式会社ミントウェーブ

本機の使用目的と制限

人命や高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。

本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、弊社は一切の責任も負いかねます。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。

したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償金の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を負いかねます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 株式会社ミントウェーブの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

1. イントロダクション	1
1.1. はじめに	1
1.2. 梱包内容の確認	1
1.3. WBT インターフェイスの操作/設定方法について	1
2. 各部の名称	2
2.1. 本体正面	2
2.2. 本体側面	5
2.2.1 左側面	5
2.2.2 右側面	5
2.3. 本体背面	6
2.4. 本体底面	7
3. セットアップ	9
3.1. 周辺装置の接続	9
3.1.1 バッテリパックの着脱	9
3.1.2 AC アダプタの接続	11
3.1.3 ネットワークケーブルの接続	11
3.1.4 SmartCard の挿入	11
3.1.5 Express カードの挿入	11
3.1.6 USB デバイスの接続	11
3.1.7 外部ディスプレイの接続	11
3.2. 電源オン	12
3.3. 電源オフ	12
4. MiNT-ACC Note HV を使いこなす	13
4.1. タッチパッドの使い方	13
4.2. Fn キーの使い方	14

1. イントロダクション

1.1. はじめに

このたびは、株式会社ミントウェブの MiNT-ACC Note HV をお買い求めいただき、ありがとうございます。

本書は、MiNT-ACC Note HV のユーザーズガイドです。

ご使用前に、本書と「シンククライアントターミナル使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しく製品をご使用ください。付属の「シンククライアントターミナル使用上の注意」には、MiNT-ACC Note HV を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。お読みになった後はいつでも取り出して読めるように、できる限り身近に保管してください。

1.2. 梱包内容の確認

標準構成では以下の物品が同梱されていますので、はじめにご確認ください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

< 同梱物 >

MiNT-ACC Note HV 本体	: 1 台
バッテリーパック (MODEL/型番 : 2200)	: 1 個
AC アダプタ (MODEL/型番 : 0335C2065)	: 1 個
電源ケーブル	: 1 個
シンククライアントターミナル使用上の注意	: 1 冊

1.3. WBT インターフェイスの操作/設定方法について

MiNT-ACC Note HV 起動後の WBT インターフェイスの操作/設定方法については、該当するソフトウェアガイドをお読みください。

MiNT-ACC Note HV/E (搭載 OS : Windows XP Embedded) をお使いの場合
「XP Embedded 端末用 WBT インターフェイス ソフトウェアガイド」をお読みください。

MiNT-ACC Note HV/U (搭載 OS : Basilware) をお使いの場合
「Basilware 搭載機種用 WBT インターフェイス 操作/設定ガイド」をお読みください。

お買い求めの機種がどちらかわからない場合は、梱包箱側面のラベルにある OS 表示を確認ください。

2. 各部の名称

MiNT-ACC Note HV の各部の名称は以下の通りです。

2.1. 本体正面



1. LCD パネル

12.1 型ワイド TFT 液晶パネルです。

2. 無線 LAN 切替スイッチ

内蔵無線 LAN の電源をオン/オフするスライドスイッチです。

3. マイク入力

マイクを接続します。

4. オーディオ出力

ステレオヘッドフォンまたはアンプ付ステレオスピーカを接続します。

5. インジケータ

電源と各種機能の状態を表示します。

詳しくは次ページの説明をお読みください。

インジケータ表示について

アイコン	名称	表示	状態
	電源ランプ	青点灯	電源オン
		青点滅	スタンバイモード (XP Embedded のみ対応)
	無線 LAN ランプ	青点灯	無線 LAN オン
	ディスク アクセス ランプ	緑点滅	ディスク (フラッシュディスク) アクセス中
	NUM ロック ランプ	緑点灯	NUM ロック有効
	CAPS ロック ランプ	緑点灯	CAPS ロック有効
	バッテリーランプ	緑点灯	フル充電完了 緑点灯するのは、充電中だった バッテリーがフル充電状態になっ 時だけです。
		オレンジ点灯	充電中
		消灯	次のどれかの状態です ・ AC アダプタが接続されていない。 ・ バッテリーパックが装着されて いない。



- 6. 電源ボタン
本体の電源をオン/オフする押しボタンスイッチです。
- 7. メディアプレイヤーボタン
何も機能しません。
- 8. キーボード
日本語 87 キーボードです。
- 9. マイク
内蔵マイクです。
- 10. タッチパッドボタン
選択やドラッグなどの操作をおこなうボタンです。
- 11. タッチパッド
マウスカーソルを操作するパッドです。
タッチパッド上で指を動かすと、その動きにあわせてマウスカーソルが動きます。

2.2. 本体側面

2.2.1 左側面



1. セキュリティスロット
盗難防止のためにセキュリティワイヤーを取り付けます。
2. 電源コネクタ
付属の AC アダプタを接続します。
3. SmartCard スロット
ISO7816 に準拠した接触式 SmartCard を接触部を上に入れます。

2.2.2 右側面



4. Express カードスロット
ExpressCard/34、ExpressCard/54 に対応したカードを挿入します。
5. USB2.0 ポート
USB デバイスを接続します。
6. 外部ディスプレイポート
ディスプレイを接続します。
7. 通風孔
冷却用通風孔です。

注意 絶対に塞がないでください。

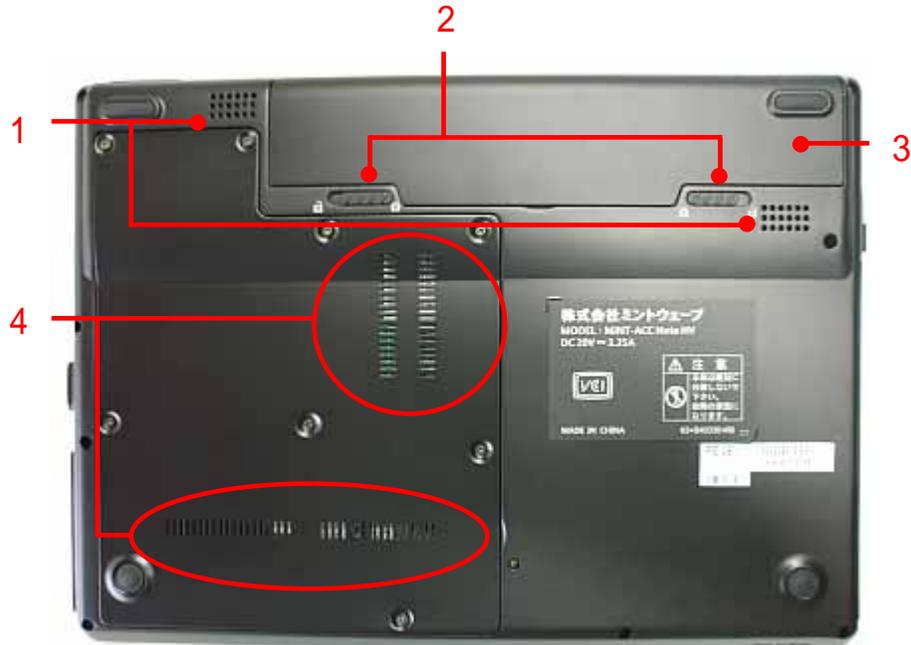
2.3. 本体背面



1. ネットワークコネクタ

100BASE-TX または 10BASE-T ネットワークを接続します。

2.4. 本体底面



1. スピーカ
音声を出力します。
2. バッテリリリースラッチ
バッテリーパックの固定/解除を行うスライドレバーです。
3. バッテリパック
MiNT-ACC Note HV 専用バッテリーパックです。本体に装着します。
4. 通風孔
冷却用通風孔です。

注意

- ・絶対に塞がないでください。
- ・ひざの上で長時間使用しないでください。



5. シリアル番号ラベル

MiNT-ACC Note HV のシリアル番号と対応するバーコードが印刷されています。

6. 製造銘板/警告ラベル

銘板と警告表示が印刷されています。

3. セットアップ

3.1. 周辺装置の接続

3.1.1 バッテリーパックの着脱

< バッテリーパックの取り付け >

- (1)ふたを閉め、AC アダプタを本体から抜きます。
- (2)MiNT-ACC Note HV 底面が上部となるように置きます。
- (3)バッテリーリリースラッチ を解除の  方向にスライドさせます。
- (4)バッテリーパックの爪 (3箇所) を本体バッテリー収納部の溝 (3箇所： ) に合わせ、セットします。
- (5)バッテリーパックをカチッと音がするまで (バッテリーリリースラッチ が戻るまで) 本体バッテリー取り付け部に倒し込みます。



- (6)バッテリーリリースラッチ をロックの  方向にスライドさせ、バッテリーパックを固定します。



- (7)MiNT-ACC Note HV 底面が下になるよう置き直します。

< バッテリーパックの取り外し >

- (1)ふたを閉め、ACアダプタを本体から抜きます。
- (2)MiNT-ACC Note HV 底面が上部となるように置きます。
- (3)バッテリーリリースラッチ を解除の  方向にスライドさせます。
- (4)バッテリーリリースラッチ を解除の  方向にスライドさせたまま、くぼみに指を入れ、バッテリーパックを上方向に押し上げます。



- (5)バッテリーパックを本体から取り外します。

3.1.2 AC アダプタの接続

付属の AC アダプタを本体の電源コネクタに接続します。
電源コードを AC アダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

注意

- ・付属の AC アダプタ以外は使用しないでください。
- ・購入直後はバッテリーがフル充電されておりません。
バッテリーがフル充電されるまで（数時間）AC アダプタを抜かないでください。
充電時間は状態により異なります。

3.1.3 ネットワークケーブルの接続

ネットワークコネクタにネットワークケーブルを接続します。
100BASE-TX ネットワークに接続する場合はカテゴリ-5 以上のケーブルで接続してください。

注意

- ・接続に使用するインターフェースケーブルのコネクタ部分のピンが折れていたり、曲がっていたり、ほこりがつまっていないことを確認してから接続してください。
- ・各コネクタに確実に接続されていることを確認してください。

3.1.4 SmartCard の挿入

SmartCard スロットに SmartCard を挿入します。
（ XP Embedded のみ対応）

3.1.5 Express カードの挿入

Express カードスロットに Express カードを挿入します。
（ XP Embedded のみ対応）

3.1.6 USBデバイスの接続

USB ポートに USB デバイスを接続します。

3.1.7 外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイポートにディスプレイを接続します。

3.2. 電源オン

周辺機器の接続が終了しましたら、ふたをあけ電源を入れます。

- (1) MiNT-ACC Note HV のふたを持ち上げます。
LCD パネルが快適な位置になるよう、角度を調整します。
- (2) 電源ボタンを押します。
電源ランプが青色に点灯し、電源がオンになります。
- (3) スタートアップ処理が実行され、画面に MiNT-ACC ロゴが表示されます。
以降の設定は、ソフトウェアガイドを参照ください。



3.3. 電源オフ

MiNT-ACC Note HV の終了方法はソフトウェアガイドを参照ください。

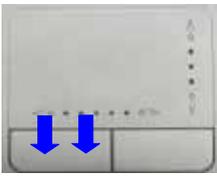
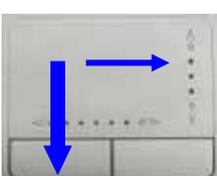
何らかの異常で、上記の電源オフができない場合は、電源ボタンを4秒間押し続けてください。強制的に電源オフします。

4. MiNT-ACC Note HV を使いこなす

MiNT-ACC Note HV を利用する際に、理解しておく役立つ操作・機能を説明します。

4.1. タッチパッドの使い方

タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことにより、マウス使用時と同様の操作が可能です。

	操作	指の動き
ポイント	操作するものにマウスポインタを合わせるには、タッチパッドに指を置きその方向に指を動かします。	
クリック (選択)	タッチパッドボタンの左ボタンを一度だけ押します。	
ダブルクリック (開く/ 起動)	タッチパッドボタンの左ボタンを続けて2回押します。	
ドラッグ & ドロップ	タッチパッドボタンの左ボタンを押します ボタンを押したまま、タッチパッド上で指を動かします。 目的の位置で左ボタンから指を離します。	
右クリック	タッチパッドボタンの右ボタンを一度だけ押します。	

4.2. Fnキーの使い方

キーボードのFnキーと様々なキーを同時に押下することにより、以下の操作ができます。

ファンクションキー	機能
Fn + F3	本体 LCD パネルのオン/オフを切り替えます。
Fn + F4	スタンバイモードに入ります。 *1
Fn + F5	外部ディスプレイが接続されている場合に、画面の出力先を切り替えます。 (本体 LCD パネル/外部ディスプレイポートに接続したディスプレイ間で切り替えを行います) *2
Fn + F6	LCD パネルの輝度を下げます。
Fn + F7	LCD パネルの輝度を上げます。
Fn + F8	音量を小さくします。 *1
Fn + F9	音量を大きくします。 *1
Fn + F10	音量を消します。 *1
Fn + Insert	NumLk として機能します。(テンキー入力が可能になります。)
Fn + Delete	ScrLk として機能します。
Fn +	Pg Up として機能します。
Fn +	Pg Dn として機能します。
Fn +	Home として機能します。
Fn +	End として機能します。

*1 : XP Embedded のみ対応

*2 : Basilware では切り替えできません

注意

- ・利用可能な Fn キーは搭載ソフトウェアによって異なります。
詳しくは、製品のドキュメントをお読みください。